

令和5年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和 6年 4月 30日

団体所在地 広島市西区福島町2丁目24-48
団体の名称 社会福祉法人みどり会
職・氏名 理事長 柳瀬 昌夫
(施設名 みどりの森みらいこども園)

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・園外保育
(山あそび、自然散策・自然物採集)
- ・よもぎ活動(採集・食育)
- ・栽培活動(さつまいも、夏野菜、花 等)
- ・虫、花、自然物にふれる

【7月～9月】(夏季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・園外保育(竹活動・川あそび 等)
- ・雨あそび
- ・水、氷あそび
- ・栽培活動(さつまいも、夏野菜、花 等)
- ・虫や生きもの採集、観察、飼育

【10月～12月】(秋季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・園外保育
(山あそび、自然散策・自然物採集)
- ・自然物を使った染めもの活動
- ・栽培活動(さつまいも、夏野菜、花 等)
- ・門松作り
- ・焼き芋大会(苗植え、世話、採集、準備等)

【1月～3月】(冬季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・園外保育
(山あそび、自然散策・自然物採集・山登り)
- ・雪あそび ・氷をつくる

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】



（エピソード記述）

「（ばばあちゃんの）よもぎだんご」の絵本をきっかけに、「ヨモギだんご作りたい」という子どもたちの声から、ヨモギ採集がスタートしました。「こっちにいっぱいあるよ。」「畑の横にもあるよー！」と発見・採集を楽しんでいました。実際に採集したヨモギにふれる中で、「良い匂いするね。」「えっ。ちょっと臭い」「これ小さいね。」等と、様々な気付きや発見をしていました。

採集したヨモギで、ヨモギだんご作りを行うと、クッキングに意欲的な姿があり、完成したヨモギ団子を美味しそうに頬張る姿が見られました。

採集やヨモギ団子作り等を通して、関心をもち、秋には、ヨモギを使つての染め物を行い、運動会に着るTシャツをヨモギで染めました。

【7月～9月】

（写真）



（エピソード記述）

自然保育アドバイザーの先生と一緒に、川遊びを行いました。川の中には“メダカ”“アメンボ”“オタマジャクシ”“ヤゴ”など、様々な生き物が生息しており、生きものの名前や種類、捕まえ方などを教わりながら、興味津々に捕まえようとしたり、観察したりする姿がありました。子どもたちは、生きものを見つける度に「いた！！」と発見を喜び、捕まえようとする時には、「ゆっくり歩かんと逃げるよ。」等の気付きを伝えあったり、「（たくさんのアメンボを見て）ここはアメンボの世界じゃ～！」と、友だち同士で楽しそうに話しをする姿がありました。また、友だちと一緒に、水の中に浸かって、水を掛け合ったり等、様々な遊び方で、川遊びを満喫していました。

【10月～12月】



(エピソード記述)

門松づくりに必要な竹を見つけ、保育者と一緒に子どもたち自らの手で竹を切ります。竹の硬さ・太さ・竹のふしにふれ、竹を切る音、切れていく内に竹くずが出てくる様子などを、実際に見て感じ、なかなかすぐに切れない竹を、友だちと協力しながら、切り進めていく姿がありました。切り終えた後には、友だち同士で喜び、達成感を感じていました。その他にも、門松に必要な“南天”や“シダ”探しを行い、斜面を何度も登ったり下りたりしながら材料集めに精を出していました。材料集めをした後には、竹を磨き、形を整え、飾りつけてと、年長組特製の門松が完成しました。

年末年始の日本の伝統文化にふれ、子どもたち自身が、新たな年を迎えられる準備を行う、貴重な体験となりました。

【1月～3月】



(エピソード記述)

たくさんの雪が降り積もった、一面が銀世界の雪の光景を見て、「雪だるま作りたい!」「かまくら作ろうや!」「雪合戦しよう~!!」「俺もしたい!」と、子どもたちは雪あそびへの期待感が膨らむ姿がありました。子どもたちのひざ下近くまである雪の中を歩いたり、雪の中へとダイブして人型を作ったり、かまくらや雪だるま作りに夢中になったりと、子どもたちは、冬ならではの自然の雪にふれ、全身を使って、雪あそびを楽しんでいました。また、遊んでいる内に「手が冷たい(手がかじかむ)」「暑い!汗が出てきた!」「(衣類がぬれて)着替えたい。」等、と実体験を通した、感想を伝え合っていました。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について

（例）こども環境管理士を担当保育士が取得（12月）

- 自然保育アドバイザーに依頼し、現在、園外散歩を行っている環境内でできる、自然保育活動を教えていただき、職員の学びを深め、活動の幅を広げる。

- ・ 地域との関わりについて

（例）専門知識のある地域の方に園庭のぶどうの木の選定や野菜づくりを月一回交流（毎月）

- 地域の方が行っている環境整備活動（緑地帯の花植え・掃除）のお手伝いをして、様々な知識を得る
- 栽培活動に詳しい方を招いて、園庭整備を行う。

- ・ 保護者との関わりについて

（例）果物や野菜を保護者と一緒に収穫（毎月）

- 保護者交流会等の行事等で、自然物を使ったあそびや活動を体験できる機会を設ける。

- ・ その他

*より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページやSNSのURLをご記入ください。

URL	
-----	--